

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	林業課長 前島 和弘	電話番号	0852-22-5167
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	緑化推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	森林の保全、緑化に対する意識を醸成する	
事業概要	①緑化相談への対応、緑化研修会の実施（緑化センター） ②水と緑の森づくり事業における情報発信および（公社）島根県緑化推進委員会の会員としての緑化推進（県負担金） ③第71回全国植樹祭（平成32年）の島根県開催		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県民の森林への興味や関心の度合い	目標値		23.0	28.0	33.0	38.0	%
		取組目標値						
	式・定義 「水と緑の森づくり」アンケートで、森林への興味や関心が「とてもある」と回答した県民の割合	実績値	19.0	15.3				
		達成率	-	66.6	-	-	-	-
2	指標名	目標値						件
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	5,439	5,578
うち一般財源 (千円)	5,439	5,578

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

①緑化センターの緑化見本園について、樹木配置の現状確認をH28年度に実施し、樹木名プレート設置改善等を行った。 ②「水と緑の森づくり」アンケートにおける森林への興味や関心が「とてもある」と回答した県民の割合は15%であった。 県緑化推進委員会での取組みとしては、緑の少年団の組織数も100団を超えた。
--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

①緑化センターの緑化見本園内に木プレートが整備された。 ②緑の少年団の活動が、2年連続で全国での表彰を受けるなど、緑化に対する県民意識の醸成に寄与した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ①緑化センター緑化見本園は、モデルの見本園としての管理が不十分となっている。 ②アンケートにおける森林への興味や関心がまだ低い。
②困っている状況が発生している「原因」 ①開園から20数年が経過し、見本園の各樹木が成長して大径化しているため、整枝・選定作業が専門的技術を要し、対応が難しくなっている。 ②アンケートの回答者における年代・性別による温度差が反映されている。
③原因を解消するための「課題」 ①造園技術を持った嘱託による計画的整枝・剪定管理が必要。 ②若い世代（20代）や30代男性など、関心の薄い段階の底上げを図る必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

当事業は、県民の森林保全や緑化に対する意識を醸成することを目的に取り組んでいる。アンケートにおいて、森林への興味や関心が「とてもある」と回答した割合は15%だったものの、「少しはある」という回答を合わせると約71%になることから、県民の多くは森林への興味や関心を持っている。平成32年度に本県において開催予定である全国植樹祭を見据え、さらなる県民意識の向上を図っていく。
なお、各項目における具体的な取り組みは、以下のとおりとする。 ①緑化センター見本園 造園業務経験のある嘱託職員を中心に、計画的な整備・管理改善を進めるとともに、広く県民へ見てもらおうPR等を行う。 ②情報発信・緑化推進 イベントや広報活動を通じて、関心の低い世代や親子世代を巻き込むことによって全体の底上げを図っていく。また、緑の少年団活動なども引き続き支援していく。